

香川労働局長がベストプラクティス企業として 「協同食品株式会社」(坂出市)を訪問！

香川労働局長（^{まつせ}松瀬 ^{たかひろ}貴裕）は、11月の「過重労働解消キャンペーン」の一環として、長時間労働削減等に向けて積極的に取り組んでいる企業（ベストプラクティス企業）を訪問し、取組内容の説明を受けるとともに、当該内容を広く紹介することで、働きやすい労働環境の整備に努めています。

今回は、令和4年11月17日（木）に、協同食品株式会社を訪問しました。

【 ベストプラクティス企業概要 】

協同食品株式会社

- ・ 本社所在地：香川県坂出市昭和町二丁目1 - 9
- ・ 創 立：昭和37年4月
- ・ 業 種：畜産食料品製造業
- ・ 従 業 員 数：265人（令和4年11月現在）



奥谷社長様と三谷管理部長様との2人から説明を受けました。

奥谷社長様からは、「モノ造りの前にヒト造り」のモットーをかかげるとともに、リーダーの若返りや、70歳まで働ける組織作りを行っているとの説明がありました。

また、三谷管理部長様からは、長時間労働の削減状況や、有給休暇の取得促進のための取り組み状況、健康管理に関する取り組み状況について説明していただきました。

具体的な取組

1. 多能工化の推進

工場内作業をローテーションさせること等により、多能工化を推進することで、労働時間の削減・平準化につなげるとともに、有給休暇をはじめとする各種休暇を取得しやすい環境構築につなげています。特に工場では、組織として対応できるようにしているので、コロナによる影響で人員に穴が空いても対応可能となっています。2015年から売上＝仕事量は増加していますが、労働者数がほぼ同数で推移しながらも労働時間の削減を実現しています。



<左>奥谷社長様です。<右>三谷管理部長様です。



フリーアドレス化されたオフィスの様子です。

4．休暇の取得促進

法定の有給休暇取得促進に加え、時効で消滅する休暇について最大 40 日まで利用できる保存休暇制度を設けています。

5．労働衛生への取組み

保健師を採用し、復職支援・健康経営に注力しており、協会けんぽのなかでは県内初となる、自社による特定保健指導を実施していました。



<左>松瀬局長と<右>奥谷社長様です。

2．労働時間管理とサービス残業撲滅

労働時間は、タイムカードと勤務表による二種類の管理を行っており、両者に乖離があれば確認を行うこととしています。これにより、残業申請（1分単位で管理）の漏れを無くしています。

3．フリーアドレス化

間接部門にフリーアドレスオフィスを導入し、仕事の属人化を無くし、作業場所に縛られない働き方を推進しています。



健康管理への取組みを説明いただいています。

6．仕事と子育ての両立支援促進

平成 27 年度には、次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と子育ての両立支援を推進している「子育てサポート企業」として、香川県内で 27 社目のくるみん認定企業となっています。



7．障害者雇用の促進

障害をお持ちの方を長年に亘り積極的に雇い入れ、令和 2 年度には「障害者雇用優良事業所等厚生労働大臣表彰」を受賞されています。

この度は、いろいろとご説明いただき、ありがとうございました。ご協力に感謝いたします。